



# 山形大学附属小学校

## 令和6年度 学校要覧



## 校歌

作詞 神保光太郎  
作曲 佐治 恒夫

朝だ 朝だよ 輝く朝だ

太陽の子われら 希望に燃えて

すくすくのびる ラララ ラララ

われら ひかりの山形附属

山だ 山だよ 蔵王の山だ

北国の子われら あらしに負けず

たゆまず学ぶ ラララ ラララ

われら ちからの山形附属

花だ 花だよ さくらの花だ

日本の子われら 足なみそろえ

未来をひらく ラララ ラララ

われら ほまれの山形附属



地域のモデルとなる  
教育・研究を進める学校

県教育委員会が推進する取組と連携しつつ、先導的な授業モデルや、教員が協働して授業改善に取り組むプロセス、及び教育課程編成に係る具体的な視点等を示す研修会を行い、その成果を県内外に発信する。

学校教育目標

『太陽の子』 本質を見極める

常に希望に燃え、創造力豊かな子ども

『北国の子』 強い意志をもつ

困難に打ち勝ち、強い心と体をもつ子ども

『日本の子』 高い価値をめざす

日本人として誇りをもち、たゆまず学ぶ子ども

養成から研修まで  
教員を育てる学校

教員の養成・採用・研修の一体的改善を目的とする「山形県教員『指標』」を活用し、実践力をもった教員養成に資するとともに、県教育委員会と連携しながら、教員の資質・能力の一層の向上を図る。

めざす子どもの姿

〈研究テーマ〉

自ら問題解決を進める子ども（3年次）

○子どもが事象と関わる中でもった思いや願いを出発点に、自らの見方・考え方を働かせて事象に関わり、問題解決を進めていくことができる教育実践を追求する。

☆校内授業研究会（年間）

☆公開型研修会

①学習指導研究協議会（6月）

②秋の研究協議会（11月）

経営の方針

山形大学附属小学校としての  
地域の先を見通した特色ある教育を創る

幼・小・中をつなぐ問題解決学習

●子ども自身が問いをもち、解決の過程で学びのよさを実感し、これまでの学びを生かすことで問題解決力を習得する。

郷土 Yamagata に根ざし広い視野を育む教育

●山形県の自然・歴史・文化・産業等を学ぶ過程で郷土のよさを知り、広い視野で再認識した郷土のよさを積極的に発信する。

めざす教師の姿

- 「一期一会」を大切にす教師
- 自ら学び続ける教師
- 子どもへの深い愛情と洞察力をもつ教師
- 同僚への尊敬の念・謙虚さをもつ教師
- 学校経営に積極的に参画する教師  
→限られた時間で最大の教育成果を得る組織運営力の向上（Time is Life）

望ましい保護者の姿

- 子どもの思いを受けとめ、支え、希望を与える保護者
- 子どもを指導できる責任ある保護者
- 保護者同士の理解を深め合い支え合う保護者

経営の重点

すべての子どもと教職員が「安心」と「生き甲斐」を感じられる学校をつくる

信頼される  
学級・学年・学校づくり

- 「4つの誓い」を常に意識した実践活動の展開
  - ①さわやかで元気なあいさつ
  - ②話は目と耳と心で聴く
  - ③小さな社会人として地域のお手本になる
  - ④一日一善
- 状況に応じた感染症及び熱中症等への迅速かつ適切な対応
- ICT等を効果的に活用した情報共有による家庭との連携
- 附属学校園学校運営協議会設置に向けた保護者及び地域等との連携

「自ら問題解決を進める子ども」が育つ  
教育課程の工夫と授業改善

- 附属小の特色を生かした教育課程の推進と自律的な学びを促進する教育環境の整備充実
  - ①育成を図る資質・能力を明確化した学年・学級カリキュラム
  - ②指導と評価の一体化
  - ③授業と家庭学習を往還する自律的な学び
- 遊びと学びをもとに、仲間の輪・和を広げる異学年交流活動（みのり班活動）の推進と豊かな体験活動の充実
- 幼・小・中をつなぐ探究的な学び、英語教育及び教育情報化推進に係る各コーディネータの専門性を生かした英語教育・GIGA スクールの推進

児童個々の課題に応じた  
指導・支援の充実

- まつなみ支援室を核とした子ども理解の共有・深化、及び「すべての子どもが安心して学べる」教育環境の充実
- 特別支援コーディネータ、スクールカウンセラー等の専門性を生かして展開する個々に応じた切れ目のない支援
- 「生徒指導の5つの場」を生かす諸教育活動の展開
  - ①自己決定 ②自己存在感
  - ③人間的ふれあい
  - ④相手との関わり
  - ⑤発達の可能性を最大限に発揮

教育活動全体で行う道徳教育の方針および重点

1. 道徳教育の方針

- 学校教育目標（『太陽の子』・『北国の子』・『日本の子』）に基づき、希望と勇気、強い意志と、日本人としての誇りをもって学び続ける子どもを育てる。
- 附属学校園で学び合う仲間「友だち」を大切にす子どもを育てる。
- 山形県の子どものとして「いのち」（生命と生き方）を尊重する子どもを育てる。

2. 道徳教育の重点

- 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえないものであることを理解し、生命を尊重すること。
- 友だちと互いに信頼し合い、学び合って友情を深め、助け合いながら人間関係を築いていくこと。
- 希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやりぬくこと。
- 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。

山形大学附属学校園将来構想 テーマ「広い視野と高い志を持ち、『共生社会』を創造的に生き抜く子どもの育成」 サブテーマ「“郷土Yamagata”を基盤にした『グローバルシティズンシップ教育』の推進」

**附属小学校では、学校教育目標「太陽の子・北国の子・日本の子」をめざし、未来をひらく教育を進めます！**

令和6年度  
大テーマ

**一人一人のよさを大切にし、チャレンジしながら笑顔を咲かせ、ドキドキ・わくわくをあふれさせよう**



4月 ようこそ1年生



6月 みのり遠足



10月 みのりSF



11月 みのり登山



2月 6年生を送る集会



**みのり班(縦割り班)を核とし、思いやり、協調性、自己肯定感を育みます。**



【みのり班活動(毎週火曜日)】



【みのりの時間(年3回)】



【5・6年しごと活動(毎週木曜日)】



【1・2年なかよしデー(6月)】



【みのり班班長引継ぎ(2月)】

「GIGA スクール構想」を一層進める中で、オンラインのよさも、直接かかわるよさも大切にしながら、子どもの問題解決の歩みを支えていきます。

附属学校園間の連携をさらに進め、互いの絆を深めます。



<附特交流>



<幼稚園交流>



<中学校見学>

特色ある教育活動で、子どもの豊かな心を育みます。



<弦楽部>



<<合唱部>>

附属学校の使命を果たしていきます。



<大学との共同研究>

# 沿革

- 明治11.10.1 山形市香澄町、七日町両校の児童360名を入学させ、旅籠町に山形県師範学校附属小学校を開校する。
- 同33.4.8 校舎を六日町(現緑町二丁目)に移す。
- 同36.5.1 山形市第一小学校校舎の一部および尋常科5学級を借り受けて、山形県女子師範学校附属小学校を開校する。
- 同37.4.1 女子師範学校寄宿舎の一部を使用して、尋常科および高等科女子を募集する。
- 同38.12.25 香澄町横町南(現十日町一丁目)に女子師範附属小学校の独立校舎が落成する。
- 同41.4.1 尋常科の修業年限を6年に延長し、高等科の修業年限を2カ年に改める。
- 大正14.10 皇太子殿下が、女子師範附属小学校で教育実習生の授業を御覧になる。
- 昭和16.4.1 国民学校制の施行に伴い、小学校をそれぞれ山形県師範学校附属国民学校、山形県女子師範学校附属国民学校に改称する。
- 同18.4.1 師範学校の官立移管に伴い、それぞれ山形師範学校男子部附属国民学校および女子部附属国民学校と改称する。
- 同22.4.1 学制改革に伴い、国民学校を小学校と改称する。また、それぞれの高等科をもって附属中学校を創設し、これを併置する。
- 同24.4.1 附属小学校P・T・Aが発足する。
- 同24.7.15 学制改革に伴い、それぞれ山形師範学校第一および第二附属小学校となる。
- 同26.4.1 新制大学制度の実施に伴い、両附属小学校を統合し、新築校舎落成とともに、十日町に山形大学教育学部附属小学校として発足する。5月20日を開校記念日と定める。
- 同27.8.3 旧制第一、第二附属小学校同窓会を統合し、新たに山形大学教育学部附属小学校同窓会として発足し、第1回総会を開く。
- 同28.4.1 1・2年複式学級を併設する。
- 同29.10.28 附属小学校校歌を制定する。
- 同29.10.30 附属中学校敷地内(現山形市民会館)に附属学校プールを新築する。
- 同31.4.1 3・4年複式学級1学級を増設し複式2学級とする。
- 同36.4.11 標準服を制定し新入児童に着用させる。
- 同37.8.21 体育館を十日町に新築落成する。
- 同43.4.1 普通・複式・特殊各一学級増。5月10日特殊学級開級となる。副校長制を採用する。
- 同44.3.11 新営校舎で授業を開始する。スクールバスの運行を始める。
- 同44.5.10 附属幼稚園・小学校・中学校の新営校舎落成式を行う。
- 同44.11.28 附属第2プールの新築落成なる。
- 同44.5.12 附属校園給食センターを開設し、小学校の給食を開始する。
- 同44.10.26 グラウンド整備をほぼ完了し、祝賀大運動会を行う。
- 同44.11.18 附属幼稚園・小・中学校の完全給食を開始する。
- 同45.8.30 中庭みのり園の移転復元工事を完了する。
- 同46.9.1 校地北側に池(ひょうたん池)を造成し、工事完了する。
- 同49.4.1 養護学校の独立により普通18、複式3、計21学級となる。
- 同49.9.26 小学校課程3年次学生の教育実習が始まる。
- 同50.10.1 研究図書『授業過程の基本型と展開』を出版する。
- 同53.6.20 百周年記念事業の一環としてオーケストラの楽器購入。オーケストラを編成する。
- 同53.10.1 創立百周年記念諸行事ならびに祝賀会を開く。
- 同55.4.28 創立百周年記念碑の除幕式を行う。
- 同58.3.28 2棟の校舎(1,118㎡)の増築落成なる。
- 同59.5 『自己実現をめざす子どもを育てる山大附小プラン』の発刊(低・中・高3分冊)。
- 同60.5 『自己実現をめざす子どもを育てる―「充実」した学校生活の創造―』を出版する。
- 同61.3.28 校舎大改修工事完了する。
- 同62.3.27 体育館改築竣工なる。
- 同62.10.20 附属学校園前(県道)に地下道開通し、完成を祝う。

- 平成元.11.30 グラウンド全面改修完了する。
- 同2.6.5 『「個が育つ」授業の創造』を出版する。
- 同4.6.4 『自ら生活を創造する子どもを育てる「山大附小プラン」』を発刊する。
- 同4.9.12 学校週五日制による休業日が施行される。
- 同4.10.4 第47回国民体育大会秋季大会開会式演技「紅の詩」へ6年全員参加する。
- 同6.7.10 25Mプール完成
- 同8.3.31 LL教室を改修し、コンピューター室が完成する。
- 同8.4.10 『確かな変容が見える授業の創造』を出版する。
- 同8.9.4 グラウンド全面改修する。
- 同9.3.17 低学年中庭の人工芝全面張り替えをする。
- 同10.9.30 未来へのメッセージ「タイムカプセル埋設」(西暦2029年9月15日開封)
- 同10.10.1 創立120周年記念諸行事及び祝賀会を開く。
- 同12.8.20 校内コンピュータネットワーク完成
- 同13.3.31 『仲間とともに夢と文化を創造する子どもを育てる「附小プラン」』を発刊する。
- 同13.5.1 創立120周年記念誌『太陽の子われら』、記念CD『みのりの四季』を発行する。
- 同13.9.22 赤、白、黄、青の四組対抗での秋季大運動会を実施する。
- 同14.4 午前3校時、午後3校時の日課表での授業開始。
- 同16.2 校舎周辺フェンス及び門扉の改修工事、各通用門周辺監視用カメラ設置。
- 同16.3 給食室の改修工事(ドライ化工事)
- 同16.4.1 国立大学から『国立大学法人』へ移行。
- 同16.4 ガードマンによる巡視、監視カメラでの安全対策を取る。
- 同17.4.1 学部附属小学校から『山形大学附属小学校』へ移行。
- 同19.12.13 防災ガラス設置(体育館)
- 同20.3 トイレ改修
- 同20.10.10 創立130周年記念式典
- 同21.4.1 山形大学附属学校運営部体制、校長専任化へ移行。
- 同21.6 教職専門実習(教職大学院)が始まる。
- 同22.9.11 みのりスポーツフェスティバル実施
- 同23.3 1・2年複式学級閉級
- 同23.4 附属学校特別支援教育コーディネータ・メンタルケアコーディネータ配置
- 同24.4 附属学校園まつなみ学習支援室開設
- 同25.11 校舎耐震化改修工事が始まる。
- 同26.12 新給食センター稼働
- 同27.3 5・6年複式学級閉級
- 同27.3 校務支援ソフト導入
- 同27.4 附属学校英語教育コーディネータ配置
- 同27.10 校舎改修工事が完了する。
- 同28.4 道徳教育推進教師の配置
- 同29.6 『「学び続ける子ども」が育つ授業の創造』を出版する
- 同30.5.19 創立140周年記念外構壁画制作
- 同30.10.1 創立140周年記念式典・講演・コンサート
- 同30.12.21 体育館トイレ改修工事完了
- 令和元.6~ 探究型・授業づくり・カリキュラム研修会(午後半日開催)を実施
- 同2.4 グラウンド南側に草木塔を建立する。
- 同3.4 素材等を改良した新制服を導入する。
- 同3.11 後藤敏和氏より、「とめきち先生の岩石園」の寄贈を受ける。
- 同5.3 3・4年複式学級閉級

## 研究のあゆみ

### ■ 昭和44~46

授業の組織化による子どもの変容

### ■ 昭和47~50

学力の創造と授業過程

### ■ 昭和51~54

自己表現をめざす子どもの育成

### ■ 昭和55~59

学校生活における「充実」の探究

### ■ 昭和60

子どもが「充実」する授業の創造

### ■ 昭和61~平成7

自ら生活を創造する子どもの育成

### ■ 平成8~平成15

仲間とともに夢と文化を創造する子どもの育成

### ■ 平成16~平成23

自ら学びをもとめ続ける子どもの育成

### ■ 平成24~平成28

学び続ける子どもの育成

### ■ 平成29

『たくましさ・しなやかさ』が育つ学び

### ■ 平成30~令和3

よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び

### ■ 令和4~

自ら問題解決を進める子ども

## 週日課表

●1～6年の授業 ◎該当学年の授業

時間		月	火	水	木	金
～ 8:30		登校・着替え・準備				
8:30～ 8:40		朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
8:40～ 9:40	1	●	●	●	●	●
9:45～ 10:30	2	●	●	●	●	●
10:30～ 10:50		休 み 時 間				
10:55～ 11:40	3	●	●	●	●	●
11:45～ 12:30	4	●	●	●	●	●
12:30～ 13:15		給 食				
13:15～ 13:50		昼休み・清掃	みのり班活動	昼休み・清掃	しごと5・6年 (学級清掃)	昼休み・清掃
13:55～ 14:40	5	●	●	◎ 2～6年	●	●
14:40～ 14:45		終わりの会		終わりの会		
14:45～ 15:30	6		◎ 3～6年		◎ 5～6年	◎ 4～6年
15:30～			終わりの会		終わりの会	終わりの会

下校時刻 4校時授業 14:15 5校時授業 15:10 6校時授業 15:50

- 登校  
=朝7:50～8:15
- 全校朝会  
(年間6回)
- みのり班活動  
=13:25～13:50
- クラブ活動(4～6年)  
(年間6回)  
=14:00～15:30
- 「しごと」の時間(5・6年)  
=13:25～13:50
- 木曜日の清掃時間  
=13:25～13:50
- 代表集会  
(3～6年の代表が参加)  
=15:15～16:00
- みのり班清掃(縦割り)  
=13:35～13:50
- 学級清掃  
=13:35～13:50
- 簡単清掃(クラスごと)

放課後：弦楽・合唱の活動

## 児童数

学年	学級	男子	女子	合計
1	3	41	43	84
2	3	47	38	85
3	3	50	52	102
4	3	50	52	102
5	3	47	52	99
6	3	43	57	100
合計	18	278	294	572

R6.4.1 現在

## 学年の木

1年 ブルーベリー



2年 カルミア



3年 あおだも



4年 れんぎょう



5年 なつつばき

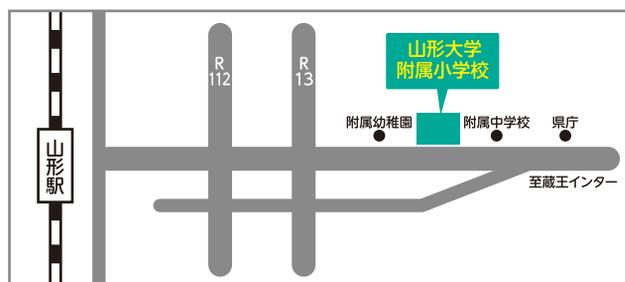


6年 はなうめ



山形大学附属小学校

〒990-0023 山形市松波二丁目7-2  
 TEL:(023)641-4444 FAX:(023)641-8594  
 E-mail:minori@fusho.yamagata-u.ac.jp  
 http://www.yamagata-u.ac.jp/sho/



アクセス 山形駅から東方約3km 山形駅前から山形県庁行きバスで附属学校前下車(所要時間約10分)